

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000085	事業の開始年月日	平成20年12月1日	
		指定年月日	平成20年12月1日	
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語 やまと			
所在地	(〒242-0001) 神奈川県大和市下鶴間2973-2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
自己評価作成日	平成23年11月14日	評価結果 市町村受理日	ユニット数	2ユニット

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に根ざした施設運営を心がけ、利用者が慣れ親しんだ地域で、利用者が持つ残された力を最大限に引き出すことが出来る個別ケアを実践し、在宅生活を長く続けることが出来るよう支援するとともに、ご家族の介護負担の軽減にも寄与していきます。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年11月30日	評価機関 評価決定日	平成24年5月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 この事業所は、小田急江ノ島線の南林間駅から徒歩15分ほどの住宅地にあり、中央林間駅と鶴間駅からのコミュニティバスも利用できる。建物は木造2階建てで、1階に1ユニット、2階に1ユニットのグループホームである。小規模多機能型居宅介護事業所を併設している
【事業所の特徴】 花物語の花は、入居者を表し、「一人ひとりが主人公になって、素晴らしい物語を作れるようにスタッフはお手伝いをしたい」という思いで名づけられている。また、季節感のある住環境を維持するため、「花守り担当者」を決めて、毎週6000円の予算で季節の生花を購入し、季節の花を絶やさない運動を法人として実施している。併設されている小規模多機能型居宅介護事業所とは、合同防災訓練や、リフト浴の利用などで日ごろから行き来がある。小規模多機能型居宅介護事業所の利用から、グループホームへの入居に移行される方もいて、馴染みの関係の中で安心して生活ができています。
【地域との連携】 自治会に加入し、自治会の盆踊りや、いも煮会、地域防災訓練に参加している。事業所の秋祭りには、民生委員や老人会の方々の協力を得て、近隣の方や、家族、子どもたちがたくさん訪れており、楽しく交流し、子どもから「ありがとう」の手紙が届いている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 やまと
ユニット名	1階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域に根ざした事業所作りを基本に、利用者・ご家族・地域の方々が気軽に立ち寄れる「ホッと家」をモットーにしている。</p>	<p>事業所の開所時に作られた理念「人生の大先輩、ホッと家、目配り・心配り・心配り」を日々のケアに活かしている。理念は、掲示すると共に、各職員の個人ファイルに綴じ込んで、毎朝唱和している。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入し、町内の催しへの参加や、近隣の幼稚園での行事参加など、地域との交流を図っている。</p>	<p>山王上自治会に加入し、回覧板を回したり、盆踊りや、芋煮会、地域防災訓練などに参加している。事業所の「秋まつり」には、老人会や民生委員の協力を得て、近隣の方々が多く来て交流している。子ども110番の家になっている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域包括支援センターとも連携し、介護予防サポーター研修生の受入れなどを通し、認知症介護についての啓蒙に努めている。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月ごとに開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などをいただいている。</p>	<p>2ヶ月ごとに開催して、事業所の運営報告や行事報告をし、情報交換をしている。参加者は市職員、地域包括支援センター職員、自治会役員、老人会役員、民生委員、利用者、家族、事業所職員で、意見を出し合い、運営に活かしている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは、利用者受け入れ状況報告や書類提出時に指導を受けたり、事業所の現状報告を行うなどの連携をとっている。</p>	<p>市の介護保険課の職員とは、運営推進会議やグループホーム連絡会で連絡を取り合い、状況の報告や相談をして連携している。市主催の「介護のお仕事」就職相談会に参加し、事業所の紹介をした。市から研修案内のメールや空き状況の問い合わせなど随時連絡がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>事業所内でのミーティングなどを通し、職員間で理解を深めるように取り組んでいる。</p>	<p>重要事項説明書の運営方針の中で、緊急やむを得ない場合以外、拘束をしないと明記し「身体拘束ゼロの手引き」を基に職員研修をしている。玄関は、前が車道のため施錠している。夜間のみ転落防止のため階段の柵を閉めている。</p>	<p>フロアー出入口に鈴があり、玄関を見渡せる位置に事務所があることや、玄関ドアは手動では重く開けにくいことを考慮して、玄関の施錠解除について職員で検討されることを期待します。</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内ではもちろんの事、ご自宅での虐待行為の可能性について職員間でミーティングの機会を持つなどの対策を講じている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在のところ、具体的な学習機会を設けていないが、今後は、外部研修への参加も含め職員間で話し合いを持っていく予定である。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前には、重要事項の説明を十分に行い、ご理解いただいた上で契約をしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の要望・意見を敏感に感じ取り、ミーティングなどを通し、速やかに個別ケアに活かせるよう取り組んでいる。</p>	<p>半年に1回アンケート調査を実施し、回答は法人に送られている。家族会はないが、家族は運営推進会議に参加し意見を出しており、運営に反映される状況になっている。毎月お便りを送り、面会時にも意見を聞いている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談の機会を設け、個々の職員の意見や提案を反映させることで、事業所内の風通しが良くなるよう心がけている。	職員は、日々の気づきは申し送りで提案し、会議の議題はメモで提案している。個別面談は1年に一度と、必要にあわせ随時行って職員の考えを聞いている。フロアミーティング・全体ミーティング・社員会が毎月あり、意見交換している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤・非常勤を問わず、職員の処遇改善について、給与水準の見直し等を行った。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている	資格取得支援制度や内部研修はもとより、外部研修についても、受講する機会を阻害しないよう勤務ローテーションへの配慮をしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム連絡会や地域の同業者との交流会・勉強会への参加を奨励している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは、利用前に当事業所がどのようなところなのかをご見学いただき、その際あるいはご自宅訪問時にご本人のご要望等に耳を傾けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からの率直な意見に耳を傾けられるよう、時間をかけて悩みや要望等を伺うよう心がけている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者のご家族にとって今何が必要なのかを見極め、地域包括支援センター等とも連携し、適切な支援が出来るよう努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のご要望に耳を傾けつつ、共に支えあえる関係作りを心がけている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者ご本人のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族とも共有し、一方通行にならないよう心がけている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご家族にもご協力いただき、飲食店や美容室など利用者の生活圏域での馴染みの関係を維持できるよう支援している。	知人からの年賀状の返信や家族からの電話の取り次ぎなどの支援をしている。家族と一緒に、教会、昔に住んでいた家や娘の家、以前から利用している美容院に出かけている。友人が訪ねてきた時はお茶を出し、会話の手助けをして馴染みの関係を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は皆さんリビングで過ごされることが多く、気の合った利用者同士会話が弾んだり、よい関係性が保たれていると思う。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも、ご家族からのご相談に対しては、きめ細かい対応が出来るよう心がけている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者から随時お話をお聞きするとともに、お聞きしたことに対して、フロアミーティングの場などで把握・検討を行っている。	アセスメントで本人、家族の意向を聞き、変化のあった時にモニタリングを実施している。面会の際、家族から希望を聞いてもらったり、職員との話に同席してもらい意向を把握している。職員全員が日々の様子を支援記録で確認している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や、生活環境など職員間で共有し把握できるよう、利用者台帳等を手元に置き活用している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援記録への確実な記録と、送りノートなどの活用により、日々の暮らしの中での必要な情報の共有を全職員間で行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員、看護職員、介護支援専門員それぞれの立場で、利用者本人やご家族からの意見をお聞きし、介護計画に反映できるよう話し合いを行っている。	支援記録を基にフロアミーティングで個々の利用者の状況を話し合い、計画作成担当者と情報を共有している。サービス担当者会議を開き、医師、看護師、家族など必要な関係者の意見を聞き、利用者の現状にあった介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援記録に記入したことや、日々のケアによる気づきをフロアミーティングの席で共有し、個別ケアに活かしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族のご要望により、介護保険の更新申請代行や、通院・送迎など必要な支援は柔軟に対応している。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、自治会、近隣の幼稚園との連携を図るよう進めている。また、施設での行事の際に、地域ボランティアの方に参加頂き、交流・活性化を図っている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前からのかかりつけ医はもとより、定期的に訪問診療に来てもらうケースもあり、医療機関との連携は密にとっている。	入居前からのかかりつけ医を利用している方が2人おり、毎月家族と共に受診したり、往診を受けたりしている。入居後に主治医を決めた方は16人で、2週間に1回の往診を受けている。歯科医は、治療と口腔ケアの必要な方が毎月往診を受けている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。不在時には24時間オンコール体制をとり利用者の状態について、適宜報告し指示を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院中も、ご家族や医療機関相談員との連絡や相談を行うよう心がけ、退院時にはスムーズに受け入れが出来るようにしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応方法や、受診・往診対応について、ご家族やかかりつけ医と連絡を取り方針の共有をしている。</p>	<p>入居時に「利用者の急変時や重度化した場合等における対応に係る指針」の説明をし、同意書を作成している。これまでに看取りの事例はないが、利用者に関係者の意向、意見を聞き、看取りも含めて、本人にとって最良といえる選択を行うと明記されている。</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方、看取りについて研修を重ね、引きつづき看取り体制を整備されることを期待します。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応方法については、フロアミーティングにて職員への周知を行っているが、実践力を身につけるための訓練について、外部機関の利用も含め、定期的に行っていききたい。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所としての避難訓練を定期的に行っている。地域の防災訓練にも利用者と共に参加し施設の訓練にも参加していただくようにしている。また、施設内倉庫には水・食料等の備蓄を行っている。</p>	<p>年2回総合訓練（小規模多機能型居宅介護事業所と合同）を実施している。これ以外に地震や夜間火災を想定した訓練を行い、全ての訓練に消防署の職員が2名立ち会っている。自治会の防災訓練に職員と一部の利用者が参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者は人生の先輩であるという認識を持って接しており、接遇について失礼の無いよう心がけ、言葉遣いには特に気をかけている。	接遇について、新人研修の中で取り上げた後、5日間の現場研修の中で指導者が直接指導している。日々の言葉かけの中で気になる状況が生じた時には、職員同士で声をかけたり、管理者が指導したりして改善している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人から申し出があることに関しては、職員の押し付けではなく、ご自身の意思を尊重し、出来得る限り自己決定できるような支援をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	マニュアル通りの支援ではなく、利用者のその時の気持ちや状況を考慮して、押し付けではない支援を行うようにしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の活用、職員によるメイクアップなども取り入れている。利用者の心が弾むよう、ちょっとした心配り、洋服の声掛けも行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	あえて献立の予定表を作らず、利用者の皆さんの好みに合わせた食事作りを心がけ、利用者と一緒に出来ることを見つけ、支援している。又、食品目に偏りがないよう気をつけている。	食材はフロアごとに週3回購入している。その日の食材を見て、調理担当の職員が利用者の意見を聞いてメニューを考え、手作りしている。誕生日には事前に好みを聞き調理している。できる方は食器洗いを手伝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの状態を把握し、適切な提供が出来るよう配慮している。特に水分については、利用者が摂取し易いよう、飲み物の種類を変えるなど工夫をしている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、職員による声掛けや介助にて利用者の口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者のご状態や排泄の習慣を把握し、自力の排泄が出来るよう支援している。失敗の多い方については、ミーティング等で話し合い、改善を図っている。</p>	<p>支援記録に排泄表があり、記録を見てパターンを把握し、様子を見て声をかけている。家ではリハビリパンツを利用していた方が、入居後は日中は布パンツに改善された事例がある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食材に偏りが無いよう注意し、繊維質の食材利用や乳製品を取り入れ、事業所内外での散歩や体操など身体を動かしていただくよう心がけています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>職員の都合ではなく、利用者本人の意向や、当日のBSチェックによる身体状況に合わせた入浴の支援を行っている。利用者が気分良く入浴できるよう、声掛けには気を使っている。</p>	<p>基本的に週2~3回は入浴している。毎日お風呂の用意があるので希望があればいつでも入れる状況になっている。入浴剤やみかんの皮を入れて入浴を促すなど取り組みをしている。週1度の入浴だった方が「きれいなほうがいいですよ」との声かけで現在は毎日入浴している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜間安眠していただくように、日中のお過ごしに配慮した活動や休息が取れるよう支援している。また、夜間の定期巡回時に、室温・湿度や睡眠状況などを把握し、支援を行っている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員同士の声掛け、見守り、服用後の再確認等、複数の職員による連携・確認を重視し、服薬事故の無いよう努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの好みや趣味嗜好などを把握し、その方が力を発揮していただけるような役割を持っていただくよう支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物や外食など、その日の気分で外出したり、季節ごとに、季節感を味わうことが出来る外出先を選び、戸外に出かけられるよう配慮している。</p>	<p>散歩は事業所の周りや近所を歩いている。2ヶ月に1度、家族の方も一緒に、日帰りのバス（15人乗り）旅行に出かけている。全員で外出できるように配慮し、日時を変えて交代で出かけている。外出時には特に会話の弾む方がいる。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店で買い物を楽しむことが出来るよう付き添いの支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りは、ご本人のご希望やご家族のご意向に即して出来るよう支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を大切にし、季節の草花などを飾りホッとできる空間作りと南向きの窓から差込む光で、明るい空間作り、室温・湿度管理にも配慮している。	毎日清掃しているほか、月1回定期的な大掃除を実施している。半年に1度ワックスかけを業者に委託している。朝顔や菊の花、ゴーヤや冬瓜など季節の花や野菜をボランティアの方と一緒に入居者が世話をしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	疲れて横になりたい時にはソファを利用したり、利用者の相性を配慮した席順を用意し、利用者が気分よく快適に過ごせる空間を提供している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者の好みの物や馴染みの物等を持ち込んでいただき、その方の居心地のよい環境作りに配慮している。また、居室の物品は定期的に整理して、使いやすいようにしている。	居室は、エアコン、ベッド（リクライニング式）、照明、収納棚は備え付けで、収納スペースは、ゆったりしている。各自の好みにあわせ、自分の作品や家族の写真を飾ったり、位牌や遺影を置いたりしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	シンクや調理台、洗面台など利用しやすい高さに設定し、トイレやお風呂、また、居室の表示について、利用者にわかりやすく表示している。		

事業所名	花物語 やまと
ユニット名	2階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域に根ざした事業所作りを基本に、利用者・ご家族・地域の方々が気軽に立ち寄れる「ホッと家」をモットーにしている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入し、町内の催しへの参加や、近隣の幼稚園での行事参加など、地域との交流を図っている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域包括支援センターとも連携し、介護予防サポーター研修生の受入れなどを通し、認知症介護についての啓蒙に努めている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>概ね2ヶ月ごとに開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などをいただいている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは、利用者受け入れ状況報告や書類提出時に指導を受けたり、事業所の現状報告を行うなどの連携をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>事業所内でのミーティングなどを通し、職員間で理解を深めるように取り組んでいる。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内ではもちろんの事、ご自宅での虐待行為の可能性について職員間でミーティングの機会を持つなどの対策を講じている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在のところ、具体的な学習機会を設けていないが、今後は、外部研修への参加も含め職員間で話し合いを持っていきます。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前には、重要事項の説明を十分に行い、ご理解いただいた上で契約をしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の要望・意見を敏感に感じ取り、ミーティングなどを通し、速やかに個別ケアに活かせるよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングや個人面談の機会を設け、個々の職員の意見や提案を反映させることで、事業所内の風通しが良くなるよう心がけている。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>常勤・非常勤を問わず、職員の処遇改善について、給与水準の見直し等を行っている。</p>		
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得支援制度や内部研修はもとより、外部研修についても、受講する機会を阻害しないよう勤務ローテーションへの配慮をしている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム連絡会や地域の同業者との交流会・勉強会への参加を奨励している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>まずは、利用前に当事業所がどのようなところなのかをご見学いただき、その際あるいはご自宅訪問時にご本人のご要望等に耳を傾けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族からの率直な意見に耳を傾けられるよう、時間をかけて悩みや要望等を伺うよう心がけています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者のご家族にとって今何が必要なのかを見極め、地域包括支援センター等とも連携し、適切な支援が出来るよう努めている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人のご要望に耳を傾けつつ、共に支えあえる関係作りを心がけている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者ご本人のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族とも共有し、一方通行にならないよう心がけている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>ご家族にもご協力いただき、飲食店や美容室など利用者の生活圏域での馴染みの関係を維持できるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は皆さんリビングで過ごされることが多く、気の合った利用者同士会話が弾んだり、よい関係性が保たれている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも、ご家族からのご相談に対しては、きめ細かい対応が出来るよう心がけている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者から随時お話をお聞きするとともに、お聞きしたことに対して、フロアミーティングの場などで把握・検討を行っている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や、生活環境など職員間で共有し把握できるよう、利用者台帳等を手元に置き活用している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援記録への確実な記録と、申送りノートなどの活用により、日々の暮らしの中での必要な情報の共有を全職員間で行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護職員、看護職員、介護支援専門員それぞれの立場で、利用者本人やご家族からの意見をお聞きし、介護計画に反映できるよう話し合いを行っている。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>一人ひとりの介護計画の見直しも必要であり、気付いた事や感じたことを話し合っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族のご要望により、介護保険の更新申請代行や、通院・送迎など必要な支援は柔軟に対応している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員、自治会、近隣の幼稚園との連携を図るよう進めている。また、施設での行事の際に、地域ボランティアの方に参加頂き、交流・活性化を図っている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回、全入居者様が往診にて診療を受けています。その他、専門的な医療への受診は主治医相談の上、提案をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。不在時には24時間オンコール体制をとり利用者の状態について、適宜報告し指示を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院中も、ご家族や医療機関相談員との連絡や相談を行うよう心がけ、退院時にはスムーズに受け入れが出来るようにしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応方法や、受診・往診対応について、ご家族やかかりつけ医と連絡を取り方針の共有をしている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応方法については、フロアミーティングにて職員への周知を行っているが、実践力を身につけるための訓練について、外部機関の利用も含め、定期的に行っている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所としての避難訓練を定期的に行っている。地域の防災訓練にも利用者と共に参加し施設の訓練にも参加していただくようにしている。また、施設内倉庫には水・食料等の備蓄を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者は人生の先輩であるという認識を持って接しており、接遇について失礼の無いよう心がけ、言葉遣いには特に気をかけている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人から申し出があることに関しては、職員の押し付けではなく、ご自身の意思を尊重し、出来得る限り自己決定できるような支援をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所や職員の時間割ではなく、利用者の生活リズムや生活パターンに合わせた、押し付けではない支援を行うようにしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の活用、職員によるメイクアップなども取り入れている。利用者が心が弾むよう、ちょっとした心配り、洋服の声掛けも行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	あえて献立の予定表を作らず、利用者の皆さんの好みに合わせた食事作りを心がけ、利用者と一緒に出来ることを見つけ、支援している。又、食品目に偏りがないよう気をつけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの状態を把握し、適切な提供が出来るよう配慮している。特に水分については、利用者が摂取し易いよう、飲み物の種類を変えるなど工夫をしている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、職員による声掛けや介助にて利用者の口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者のご状態や排泄の習慣を把握し、自力の排泄が出来るよう支援している。失敗の多い方については、ミーティング等で話し合い、改善を図っている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食材に偏りが無いよう注意し、繊維質の食材利用や乳製品を取り入れ、事業所内外での散歩や体操など身体を動かしていただくよう心がけています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>職員の都合ではなく、利用者本人の意向や、当日のBSチェックによる身体状況に合わせた入浴の支援を行っている。利用者が気分良く入浴できるよう、声掛けには気を使っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜間安眠していただくように、日中のお過ごしに配慮した活動や休息が取れるよう支援している。また、夜間の定期巡回時に、室温・湿度や睡眠状況などを把握し、支援を行っている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員同士の声掛け、見守り、服用後の再確認等、複数の職員による連携・確認を重視し、服薬事故の無いよう努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの好みや趣味嗜好などを把握し、その方が力を発揮していただけるような役割を持っていただくよう支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物や外食など、その日の気分で外出したり、季節ごとに、季節感を味わうことが出来る外出先を選び、戸外に出かけられるよう配慮している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店で買い物を楽しむことが出来るよう付き添いの支援を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りは、ご本人のご希望やご家族のご意向に即して出来るよう支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアや廊下などは入居者様と職員手作りの四季折々の飾り物などで季節を感じていただけるようにしている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールのソファなどでくつろぎながらご入居者同士談話できるように配慮しています。また席順については入居者様の相性に配慮しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの利用者の好みの物や馴染みの物等を持ち込んでいただき、その方の居心地のよい環境作りに配慮している。また、居室の物品は定期的に整理して、使いやすいようにしている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>シンクや調理台、洗面台など利用しやすい高さに設定し、トイレやお風呂、また、居室の表示について、利用者にわかりやすく表示している。</p>		

